

概 要 版



成田市景観計画

色彩ガイドライン

Color Scape Design Guidelines for Narita City



はじめに

色彩は、景観を構成する重要な要素のひとつです。

建築物等を建築する際は、景観が大きく損なわれることのないよう、地域の景観特性に配慮して色彩計画を行うことが求められます。

成田市色彩ガイドラインは、成田市景観計画の色彩基準に定めた配慮事項を基に、地域ごとになじみやすく、お勧めしたい色彩を推奨色として示し、色彩計画を行う際の参考としていただくために定めるものです。

推奨色の検討にあたっては、成田市景観計画に示す景観ゾーン及び景観拠点別に、景観の色彩の現状調査を行い、基礎資料としたほか、市内の中学生を対象に景観の色彩に関するアンケート調査を実施し、色彩の推奨の方向性の参考としています。

1.色彩について

色彩を表す体系を「表色系」と言います。ここでは日本工業規格（JIS）の標準色として利用されている「マンセル表色系」を用いるものとします。

マンセル表色系は、色彩を有彩色と無彩色に分け、有彩色を「色相」、「明度」、「彩度」で表わし、無彩色は「明度」で表します。これにより色彩を記号、数値で示すことができます。

① 色相

色相は「色合い」のことで、赤（R）、黄赤（YR）、黄（Y）、黄緑（GY）、緑（G）、青緑（BG）、青（B）、青紫（PB）、紫（P）、赤紫（RP）の10色相（図1）に分けています。

② 明度(明るさ)

明度は色彩の「明るさの度合い」を数値で表したもので、明るくなるにつれて数値が大きくなります（図2の縦軸）。

明度だけで成り立っている色彩を無彩色といい、N（Neutral）という記号を用いて表現します。

③ 彩度(鮮やかさ)

彩度は色彩の「鮮やかさの度合い」を数値で表したもので、鮮やかになるにつれて数値が大きくなります（図2の横軸）。無彩色（白、灰、黒）は彩度が0となります。

④ マンセル値の表記方法

図2の赤の色彩をマンセル値で表すには、図3のとおり、色相と明度、彩度を用います。

⑤ トーン

「あかるい - くらい」、「あざやか - おだやか」といった、明度と彩度のバランスによる色の調子をトーンといいます。

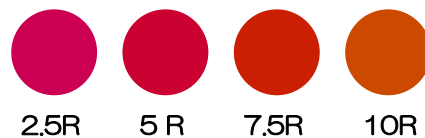
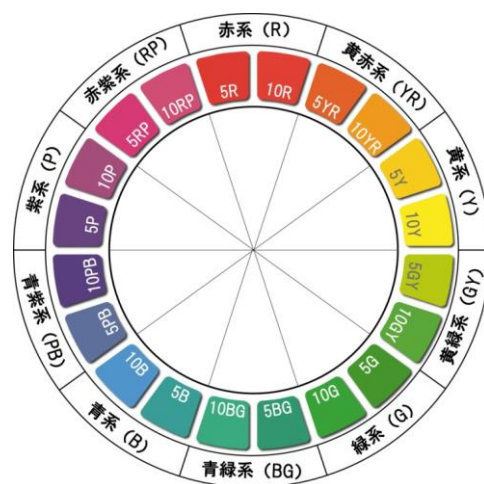


図1 色相環

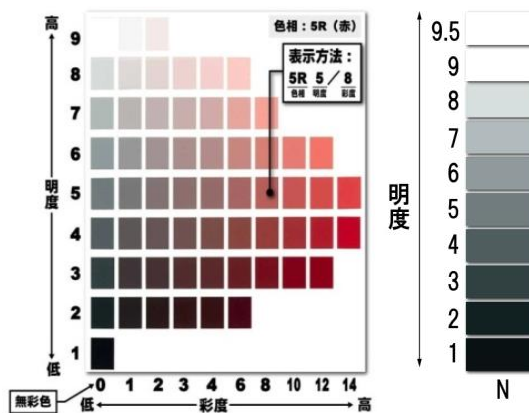


図2 色相5Rの明度・彩度図

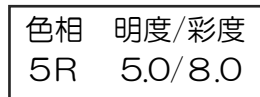


図3 マンセル数値の表記例

⑥ 色相&トーン表

図4は、代表的な10の色相と、12のトーンで色彩の全体をとらえる一覧表です。

色彩は、色相・明度・彩度の三属性であることから立体（3次元）で考えますが（図5参照）、トーンを利用することによって、色相・トーンの二属性により色彩の全体を平面（2次元）上で表現することができます。

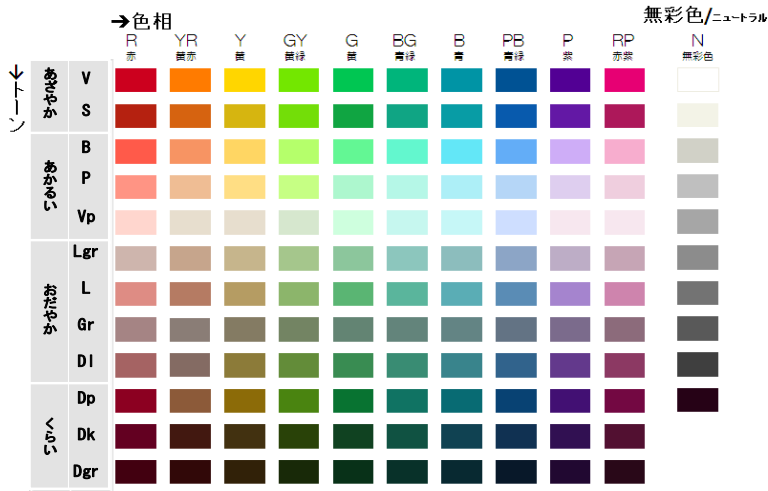


図4 色相&トーン表

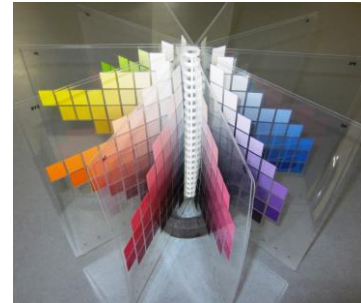


図5 表色系の3次元モデル
（『ライト色立体マンセル』を使用）

⑦ 配色イメージスケール

配色イメージスケールは、人が色を見て感じる印象を整理したものです。

「WARM - COOL」を横軸、「SOFT - HARD」を縦軸として、色の組み合わせ（配色）とそれに対応した形容詞を配置しています。その配色を使うと、それぞれの形容詞に示されたような印象を伝えることができます。

例えば、建築物などの色彩を検討する際、柔らかい印象にしたいときは、明るい配色を、重厚で格調のある印象にしたいときは暗い配色を使用するとよいでしょう。

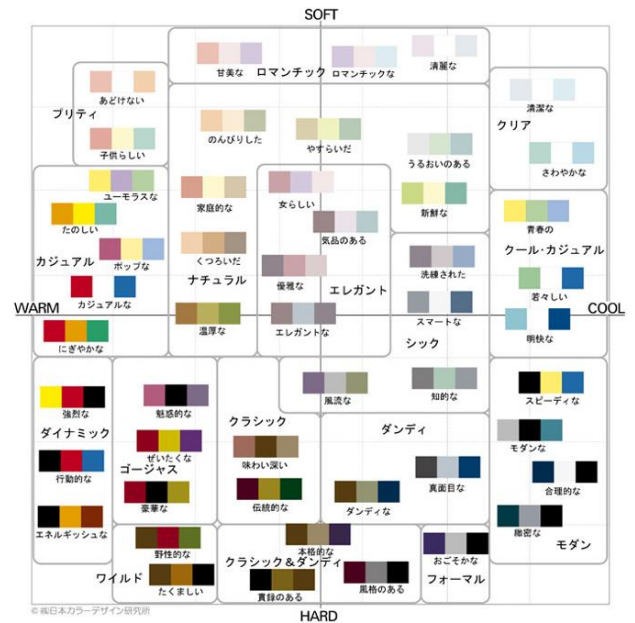


図6 配色イメージスケール

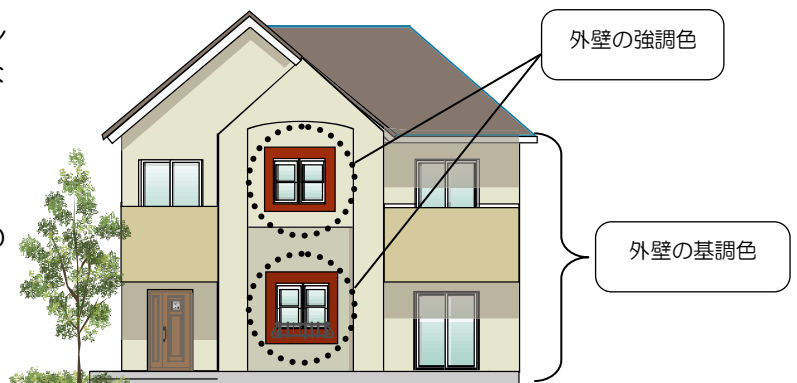
2. 基調色・強調色

① 基調色

基調色は、建築物の大部分を占める色として建築物全体の雰囲気を作り上げる重要な要素です。

② 強調色

強調色は、単調さを避けるため、建築物のデザインとして取り入れるものです。



3.色彩の基本方針と景観ゾーンの色彩の考え方

成田市景観計画では、色彩に関する4つの基本方針と、景観ゾーンごとの色彩の考え方等を定めています。色彩計画は、これらに基づき行うようにしてください。

1) 色彩の基本方針

- ① 里地や住宅市街地などでは、周辺と調和した落ち着いた落ち着きのある(穏やかな)色彩に配慮する。
- ② 商業地では、街並みに調和したにぎわいのある(はなやかな)色彩に配慮する。
- ③ 壁面などの色彩の面積規模は、それぞれの大きさと色調の強さを考えたものとする。
- ④ 建築物等の基調となる色彩とアクセントとして用いる色彩の構成は、周囲の環境(景観)に配慮したものとする。











【参考:景観特性による類型】

景観類型図



凡例			
景観ゾーン 里地景観ゾーン 住宅市街地景観ゾーン 商業地景観ゾーン	工業地景観ゾーン 成田国際空港周辺景観ゾーン	景観拠点 歴史景観拠点 駅周辺景観拠点	景観軸 沿道沿線景観軸 河川景観軸

2)各景観ゾーンの色彩の考え方

<p> ①里地景観ゾーン</p> <p>やすらぎのある里地景観の保全を目指します。色彩は、斜面林や水辺などの緑との調和と、地域の伝統色への調和に配慮します。</p>	
<p> ②住宅市街地景観ゾーン</p> <p>快適でゆとりのある街並みの景観の形成を目指します。色彩は、緑を活用しながら周辺住居と調和するよう配慮します。</p>	
<p> ③商業地景観ゾーン</p> <p>にぎわいとおもてなしの心を大切にした景観の形成を目指します。色彩は、楽しさや活気を感じられるよう配慮します。 また、成田山新勝寺周辺の色彩は、地域の伝統に調和するよう配慮します。</p>	
<p> ④工業地景観ゾーン</p> <p>周辺の環境と調和した景観の形成を目指します。色彩は、ゆとりや緑の豊かさを感じられるよう配慮します。</p>	
<p> ⑤成田国際空港周辺景観ゾーン</p> <p>空港をとりまく特徴のある景観の形成を目指します。色彩は、周辺の緑と調和するよう配慮します。また、成田を訪れる人に良好な印象が与えられるように、風土に相応しい色彩に配慮します。</p>	

4.色彩基準

成田市景観計画では、各景観ゾーンの特徴から、色彩区分を定め、それぞれについて、色彩の数値基準を定めています。

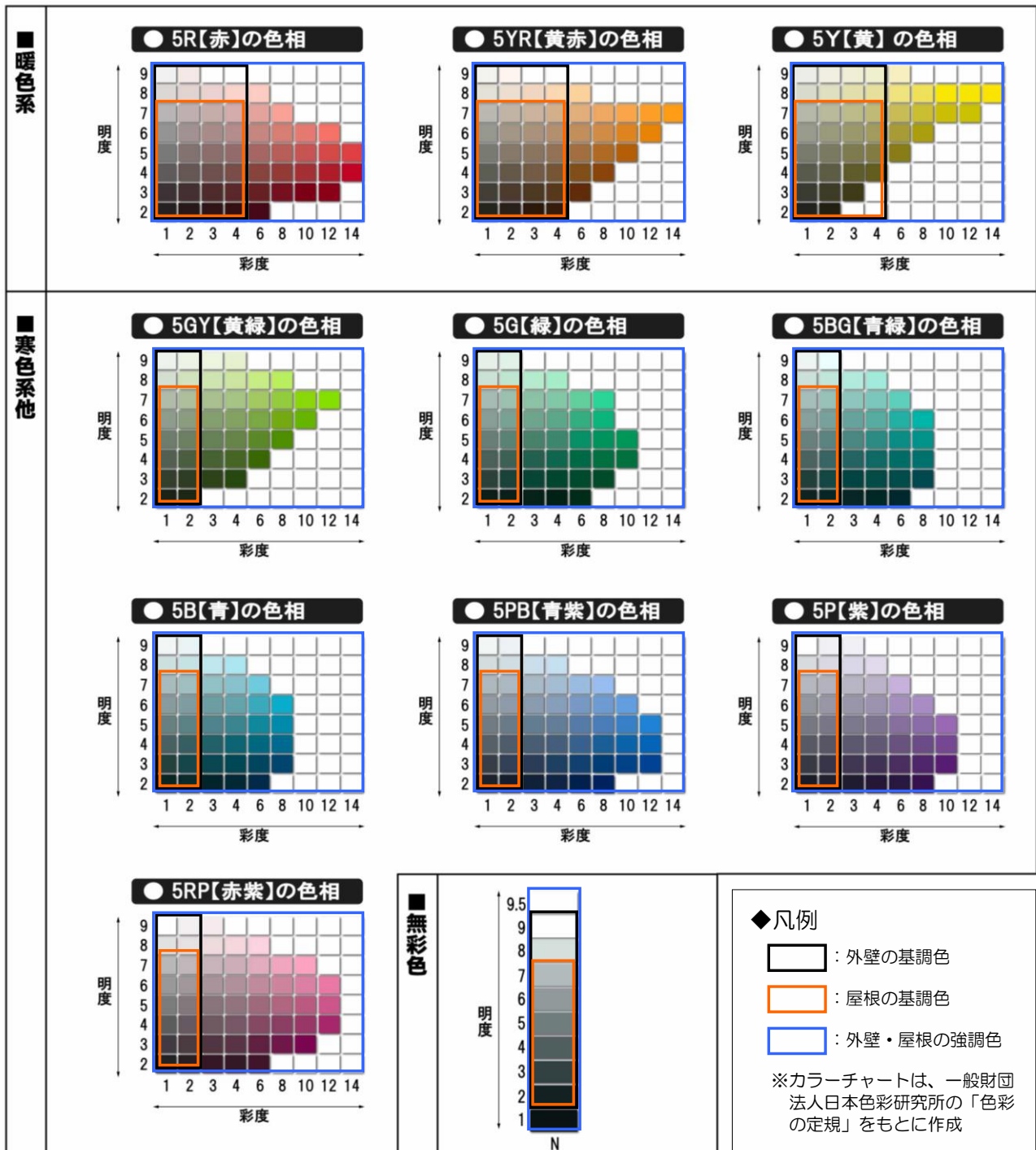
色彩区分A：里地景観ゾーン、住宅市街地景観ゾーン、工業地景観ゾーン、成田国際空港周辺景観ゾーンは、緑と調和した落ち着いた落ち着きのある（穏やかな）色彩に配慮するよう示しています。

色彩区分B：商業地景観ゾーンは、街並みに調和したにぎわいのある（はなやかな）色彩に配慮するよう示しています。

① 色彩区分A(里地・住宅市街地・工業地・成田国際空港周辺景観ゾーン)の基準
(外壁と屋根面の使用可能な範囲)

色彩	部位	基調色 (9割以上)		強調色 (1割以下)	
		明度	彩度	明度	彩度
暖色系 (R, YR, Y)	外壁	2~9以下	4以下	2~9以下	14以下
	屋根	2~7以下	4以下		
寒色系他 (GY, G, BG, B, PB, P, RP)	外壁	2~9以下	2以下	1~9.5以下	—
	屋根	2~7以下	2以下		
無彩色 (N)	外壁	2~9以下	—	1~9.5以下	—
	屋根	2~7以下	—		

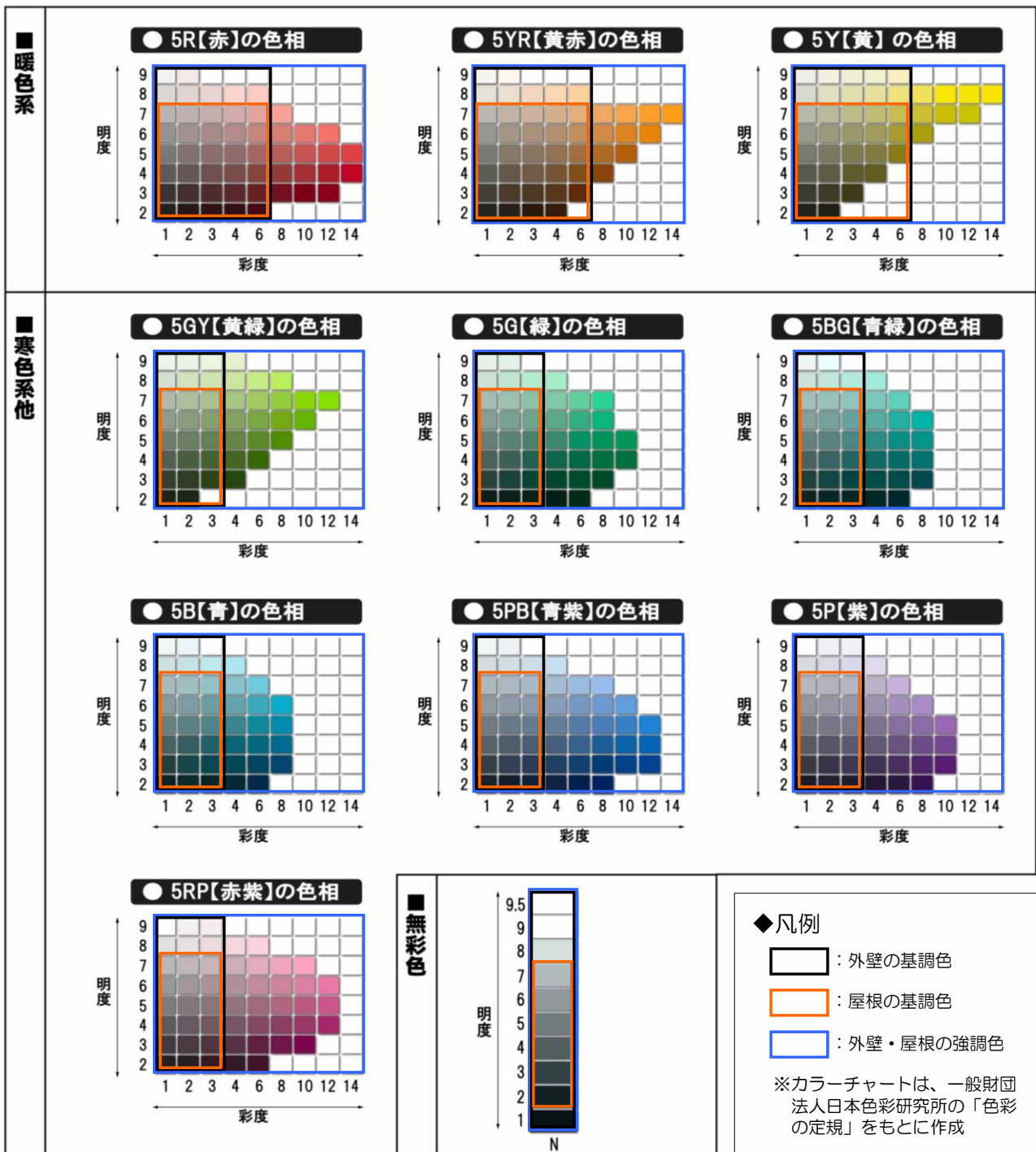
● 一覧表内の数値の範囲を図示した例(有彩色の10色相)



② 色彩区分B(商業地景観ゾーン(景観形成重点地区を除く))の基準
(外壁と屋根面の使用可能な範囲)

色彩	部位	基調色 (8割以上)		強調色 (2割以下)	
		明度	彩度	明度	彩度
暖色系 (R, YR, Y)	外壁	2~9以下	6以下	2~9以下	14以下
	屋根	2~7以下	6以下		
寒色系他 (GY, G, BG, B, PB, P, RP)	外壁	2~9以下	3以下		
	屋根	2~7以下	3以下		
無彩色 (N)	外壁	1~9.5以下	—	1~9.5以下	—
	屋根	2~7以下	—		—

●一覧表内の数値の範囲を図示した例(有彩色の10色相)



5.推奨色と配慮事項

推奨色は、建築物等の外壁の基調色に対して、それぞれの地域になじみやすく、お勧めしたい色彩として示すものです。色彩計画を行う際の参考としてください。

1) 里地景観ゾーン

① 色彩の特徴

自然の森や林、田畑の色彩が多くを占めています。色相ではGY系に集中し、これらの色彩の彩度は、8以下の傾向です。

② 推奨色と配慮事項

斜面林の緑になじむよう、また田園の緑や稲穂の実りの時の色彩より目立たないように有彩色の中明度・中彩度色を中心に考えましょう。従来からある民家の素材の色等も参考にしましょう。

白や黒に近い色彩は人工的な印象が強いため、自然中心の景観の中では仕上げの素材の配慮が必要です。自然の色の生き生きとした印象も大切に、あまり無機質にならないように配慮しましょう。

また、自然の中ではコントラストの強い色の組み合わせは目立つことも多いので注意が必要です。



■色相&トーン分析

	V	R	YR	Y	GY	G	BG	B	PB	P	RP	計	Neutral	
あ													あ	N9.5
か					2.7							2.7	か	N9
あ													あ	N8
か													か	N7
い													い	N6
お													お	N5
だ													だ	N4
や													や	N3
か													か	N2
く													く	N1.5
ら													ら	計
い													い	2.7
計		0.9	12.7		70.9		1.8	4.5	6.4			97.3		

■推奨色一覧

5Y 85/10	25Y 80/15	N75
10YR 75/20	25Y 70/20	5Y 65/05
7.5YR 60/40	10YR 60/40	N55
10YR 50/30	7.5YR 40/30	5YR 30/20

2) 住宅市街地景観ゾーン

① 色彩の特徴

色相のバリエーションが豊かなことが分かりますが、住宅の外壁の色彩はソフトゾーンに集中している傾向が見られます。低彩度でやや明るいトーンで、彩度2以下の色彩が多い傾向です。

② 推奨色と配慮事項

緑を活用しながら周辺と調和するよう配慮します。

外壁色と屋根色を計画する際に、両隣はもちろん、並び全体や向かいへなじむよう配慮することが重要です。

集合住宅も同様に、周辺の景観へ配慮しながら、基調色と強調色を使いこなしてください。



■色相&トーン分析

	V	R	YR	Y	GY	G	BG	B	PB	P	RP	計	Neutral	
あ													あ	N9.5
か		0.7	0.7		0.7		0.7	1.5	0.7			5.1	か	N9
あ													あ	N8
か													か	N7
い													い	N6
お													お	N5
だ													だ	N4
や													や	N3
か													か	N2
く													く	N1.5
ら													ら	計
い													い	14.7
計		0.8	29.4	29.4	4.4	2.2	2.9	2.9	5.1			85.3		

■推奨色一覧

10YR 85/05	N85	N80
5YR 80/20	25Y 75/15	N70
7.5YR 70/20	25Y 70/40	25Y 50/10
10R 50/30	7.5YR 50/20	7.5YR 30/30

3) 商業地景観ゾーン

① 色彩の特徴

高彩度で派手な色彩が目立って見えますが、基調色として大面積に用いられているのは、アイボリー～ベージュ、ライトグレーなど、明るく、やや低彩度のトーンが中心である傾向です。

② 推奨色と配慮事項

基調となる色彩は強調色を活かせるよう配慮しましょう。

強調色は、色彩のもつコミュニケーション性や、遠くからも見える認知性の高さなどを活用し、来訪者を歓迎するデザインを目指しましょう。

外壁色は、隣接する施設とのつながりや、看板とのバランスなどを工夫するとともに、植栽の緑が映えるように配慮しましょう。



■色相&トーン分析

	R	YR	Y	GY	G	BG	B	PB	P	RP	計	Neutral	
あ	V	17.8		1.8							8.8	あ N9.5	
さ	S	17.8		1.8		1.8		1.8			7.8	さ N9.5	
あ	B		3.5								3.5	あ N9.5	
か	P								1.8	1.8	3.5	か N9.5	
い	Vp			1.8							1.8	い N6	
お	Lgr		5.3	7.9	1.8				1.8	1.8	15.8	お N6	
だ	L	3.5	14.8	1.8		1.8		1.8			22.8	だ N5	
や	G			1.8							3.5	や N4	
か	D	1.8	1.8								3.5	か N3	
く	Dp											1.8	く N2
ら	Dk	1.8								1.8	3.5	ら N1.5	
い	Dgr												計 26.3
計		15.8	26.3	15.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	7.8	73.7		

■推奨色一覧

N8.7	5R 8.5/1.0	N8.0
5YR 8.0/3.0	10YR 8.0/3.0	N7.0
10YR 7.0/3.0	2.5Y 7.5/3.0	10YR 6.0/1.0
5Y 4.0/4.0	2.5Y 6.0/2.0	2.5Y 5.0/2.0

4) 工業地景観ゾーン

① 色彩の特徴

高明度色が多く使われて、すがすがしい景観を形成しています。ブルー系はアクセントとして使われている傾向があります。

② 推奨色と配慮事項

清潔感や安心・安全のイメージに重きを置き、植栽の緑とのバランスや調和にも配慮した色彩を検討しましょう。



■色相&トーン分析

	R	YR	Y	GY	G	BG	B	PB	P	RP	計	Neutral	
あ	V											あ N1.5	
さ	S						2.8				2.8	さ N9	
あ	B											あ N8	
か	P							2.8			2.8	か N7	
い	Vp		2.8	8.8							12.8	い N6	
お	Lgr		2.8	4.8			2.8	4.8			24.8	お N6	
だ	L				2.8						2.8	だ N5	
や	Gr		2.8								2.8	や N4	
か	Di	4.8	2.8		12.8		2.8	2.8			22.8	か N3	
く	Dp										4.8	く N2	
ら	Dk										12.8	ら N1.5	
い	Dgr												計 16.8
計		6.8	16.8	12.8	38.8		18.8	18.8			84.8		

■推奨色一覧

2.5Y 8.0/1.0	5Y 8.5/0.5	N8.7
5Y 8.0/0.5	5B 8.0/0.5	N8.0
5Y 7.5/1.0	5PB 7.5/0.5	N7.0
2.5Y 7.0/1.5	2.5Y 6.5/1.5	N6.5

5) 成田国際空港周辺景観ゾーン

① 色彩の特徴

色彩の特徴としては、緑となじむ傾向となっています。

ブルー系やグレー系がみられるため全体にクールなイメージで、中明度が中心の穏やかなイメージです。



② 推奨色と配慮事項

合理性や安全性などに配慮し、シンプルな無彩色系や明るく穏やかなトーンを中心とした色彩を推奨します。

アクセントには、空を意識したブルー系、緑を意識したグリーン系などもすがすがしい印象につながり、空港を中心とした拡がりのある景観に相応しいでしょう。

■色相&トーン分析

	R	YR	Y	GY	G	BG	B	PB	P	RP	計	Neutral
あ												N9.5
か												N9
あ												N8
か												N7
い												N6
い												N5
お												N4
だ												N3
や												N2
か												N1.5
く												
ら												
い												
計	6.5	9.7	6.5	32.3			9.7	9.7			74.2	25.8

■推奨色一覧

25Y 80/10	5Y 80/05	5B 75/05
5Y 7.5/1.5	5Y 7.5/0.5	N7.5
2.5Y 70/1.0	5B 70/0.5	N6.0
2.5Y 60/1.0	2.5PB 60/2.0	N5.0

6) 成田山新勝寺参道周辺

成田山新勝寺表参道周辺は、成田駅から新勝寺まで、市の歴史文化を代表する特徴的な街並み景観を有することから、ゾーン別の推奨色とは別に、推奨色を示すものです。

この地域に限らず、市内の歴史景観拠点の推奨色としても参考になります。



① 色彩の特徴

駅周辺から成田山新勝寺門前まで、地区ごとのまちづくりの方針により、それぞれの特徴を持っています。

色彩は、長年使いこまれた木の色彩を中心としたYR系の色彩と、瓦や黒漆喰の色彩を中心とした無彩色の2つに集中しています。他の色相でも低彩度で渋みのある色彩が多く、非常にまとまった景観を形成しています。

■色相&トーン分析

	R	YR	Y	GY	G	BG	B	PB	P	RP	計	Neutral
あ												N9.5
か												N9
あ												N8
か												N7
い												N6
い												N5
お												N4
だ												N3
や												N2
か												N1.5
く												
ら												
い												
計	1.6	31.7	16.5	2.1	1.2		0.8	1.2		0.4	55.6	44.4

② 推奨色と配慮事項

A. 花崎町

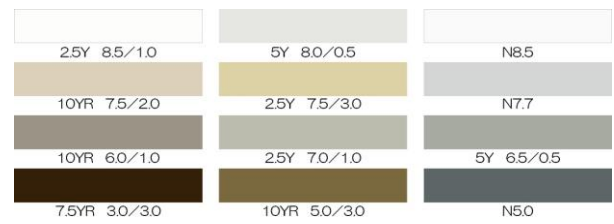
表参道の中ではビルも多く、直線的な形状が多いため、現代的ですっきりした印象を感じさせる地域です。

落ち着いた歴史の雰囲気伝えるシックな街並みを形成しているため、この風情を継承しながら品格を感じさせるイメージを目指しましょう。

低彩度で落ち着いたトーンの色を推奨します。無彩色の濃淡を活用し、穏やかでまとまりを感じさせる街並みを目指しましょう。

有彩色も低彩度でシックさを感じさせる色を用いると、質の良さを表現できます。

■ 推奨色一覧（花崎町）



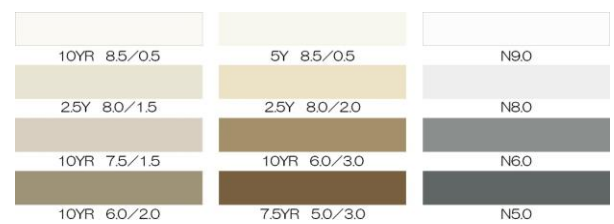
B. 上町

表参道の中で、最も壁の明るさを感じる街並みです。漆喰や漆喰調の白壁や明るいアイボリー系の壁、さらにナマコ壁の意匠に用いられている瓦タイルの色や瓦屋根の灰色が多く、明度の高い、明るい無彩色が中心といえるでしょう。

この地域の基本的な色彩である灰色をベースとして考慮し、明るい低彩度色を推奨します。

明るく穏やかな街並みが形成されているので、近隣に合わせて濃淡の差が極端なコントラストの強い組み合わせは避けましょう。また、自然素材を大切にしているので、人工的な光沢感の強い素材も避けたいところです。

■ 推奨色一覧（上町）



C. 仲町

木材の色彩であるYR系統が4割近くを占めており、茶色の濃淡で構成されている建築物が中心で、伝統を感じさせ、風格のある通りです。

基調色は風格や落ち着きを感じさせる色彩が望ましいでしょう。木の色に近いYR～Yの色相のうち、渋さのある低彩度で、暗めの中～低明度の色彩を中心に考えましょう。

屋根や看板に用いられている銅葺きの緑青に似たGY～G系の渋い色彩や、屋根に用いられているいぶし瓦など伝統的な素材の色も参考になるでしょう。坂から新勝寺を眺めると、屋根の色彩が視界の多くを占めるため、屋根の色彩にも配慮しましょう。

■ 推奨色一覧（仲町）



D. 本町

駐車スペースなども設置され、明るめの外壁の大型建築物と、伝統的な意匠の建築物が混在する地区となっています。中明度～高明度の低彩度トーンが中心であるため、全体としては明るい印象の地区です。

伝統的な雰囲気を継承しながら、穏やかで明るい、気持ちの良いイメージを目指しましょう。新勝寺の門前でもあり、控えめで質の良いシックなイメージの方向性が相応しいでしょう。

明るめの無彩色および低彩度色を基本に、伝統を感じさせる深みのあるトーンなどをアクセントに用いるのもよいでしょう。

■ 推奨色一覧（本町）





成田市景観計画

色彩ガイドライン【概要版】

この冊子では、印刷による色再現のため、実際のマンセル値と
図版等の色彩が異なる場合がありますのでご注意ください。